

# 麻酔科「疼痛緩和」

緩和ケアチーム 麻酔科医

麻酔科は当院の緩和ケアチーム発足時よりチームの一員として、手術麻酔やペインクリニックの経験をふまえ、患者さまの疼痛緩和のための治療に関わっています。

近年は、オピオイド、鎮痛補助薬などの疼痛緩和に関わる薬剤やその投与経路の選択肢が増えており、薬剤による疼痛コントロールが以前と比べて良好になってきています。これらの薬剤調整などで疼痛コントロールがうまくいかない際は、神経ブロックを行うことで、痛みの軽減や生活の質向上が得られることがあります。

神経ブロックとは、脊髄から出ている神経やその周辺に向かってブロック針を刺入し、直接またはその近くに局所麻酔薬やアルコールなどを注入して、神経の伝達機能を一時的または半永久的に遮断する方法です。当科では局所麻酔薬による神

容によつ

ては外科

系医師や手

術室の協力

を得て、安全

確実な神経

ブロックを施

行できるように努

めています。

神経ブロックを行うに当たって、患者さまの体調や施行する時期が重要になります。痛みの原因や部位によつて適応となる神経ブロックが違います。緩和ケアチームで検討したうえで、神経ブロックの適応があり、かつその時期であると考えられる場合には、患者さまやご家族にその効果、副作用、合併症などについて説明し十分理解していただいたうえで施行しています。苦痛の緩和において薬剤や神経ブロックは重要な方法です。患者さまご本人にとってより良い鎮痛方法を共に考えて見つけ出していきたいと考えています。



# 和